

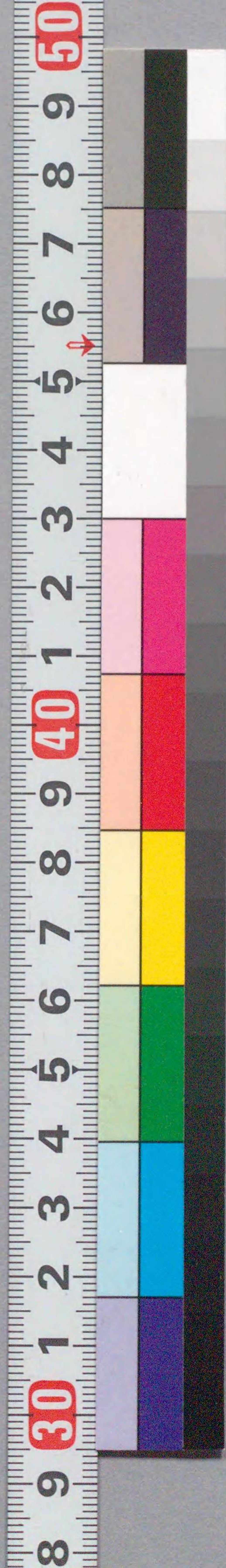


207
104

我曾直正拔惡

全

我 曾
直 正
館 藏



国立国会図書館 我曾直正拔惡 : 3卷 207-104

ガラス使用

悪抜正直曾我
新川
合之丹

207
104

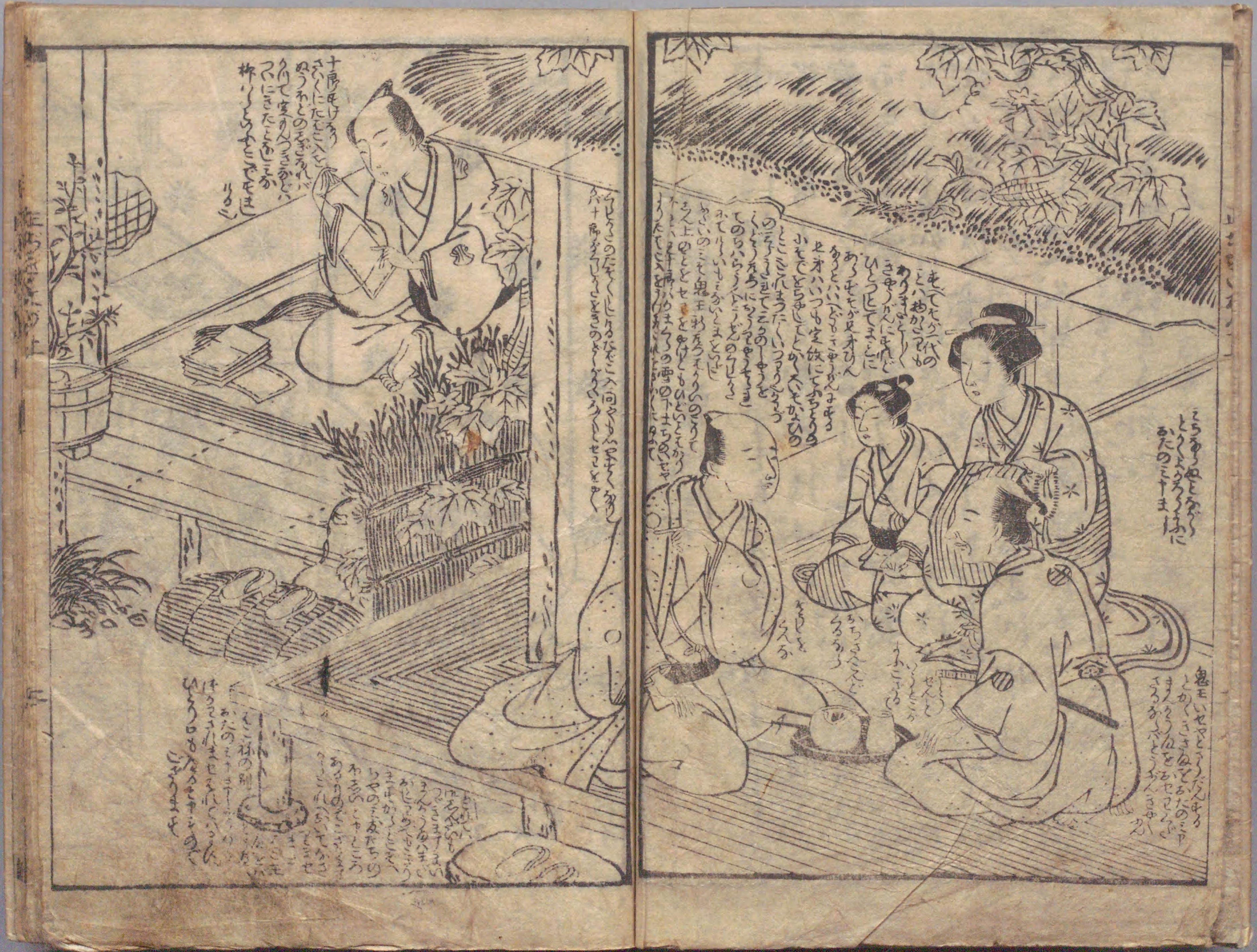
天保三



惡拔正直曾我序

市塵に新花蕎あ里と云ども是小稔子の粉う定の
粉はまろく却し息麥其味はうかひ優ぶに
曾我はよくむと言へとも是はあ七はまぜ
のるひを實は切落ひまぐふれがたよまうた
まぜいさる如く切落ひまぐふれがたよまうた
其意味は食ひ誤ちうせんと言ひ予はは
あげに申に中津より来るまは枝波
去久んと建久年中の實律はる一三五五
直曾我と題する而已
卯のあしはものびる春
徳川春田戲作





十郎氏けり
さくたにたをこ
ぬうわこのま
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる
かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる

かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる
かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる

かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる
かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる

かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる
かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる

かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる
かたのこたをけりしむるなをこ入向ふかむる









この用帳
せんせん寺ふとふは
まづまいふた
しんをいふた
かつちんは
いふた

いふた
この用帳
せんせん寺ふとふは
まづまいふた
しんをいふた
かつちんは
いふた

この用帳
せんせん寺ふとふは
まづまいふた
しんをいふた
かつちんは
いふた



用帳

この用帳
せんせん寺ふとふは
まづまいふた
しんをいふた
かつちんは
いふた

いふた
この用帳
せんせん寺ふとふは
まづまいふた
しんをいふた
かつちんは
いふた

この用帳
せんせん寺ふとふは
まづまいふた
しんをいふた
かつちんは
いふた

五

五







まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
そのまゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて

まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて



まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて

まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて
まゆまけい成はさぐりてふていりてふて













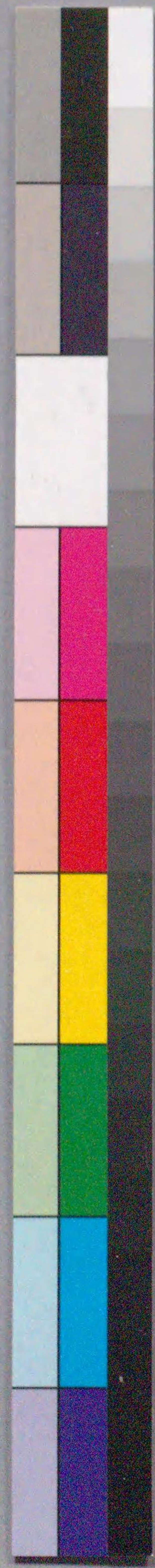
あそびけるあつらに
よじりてじやうきさ
入のよつうのよんをみま
バ祓つがささかばあ
うもて酒をかくかく
のさけらゆ

とあまのたかハ
まあとでこま
うつあつます
えんハ
利ハ
を
い



和田の止賢ハ
らうごのたの
まにんを
さ大まを
さとひまの

あつらに
とすつて久まるあ
とぞけ利のちり
あつらに
とすつて久まるあ
とぞけ利のちり
あつらに
とすつて久まるあ
とぞけ利のちり











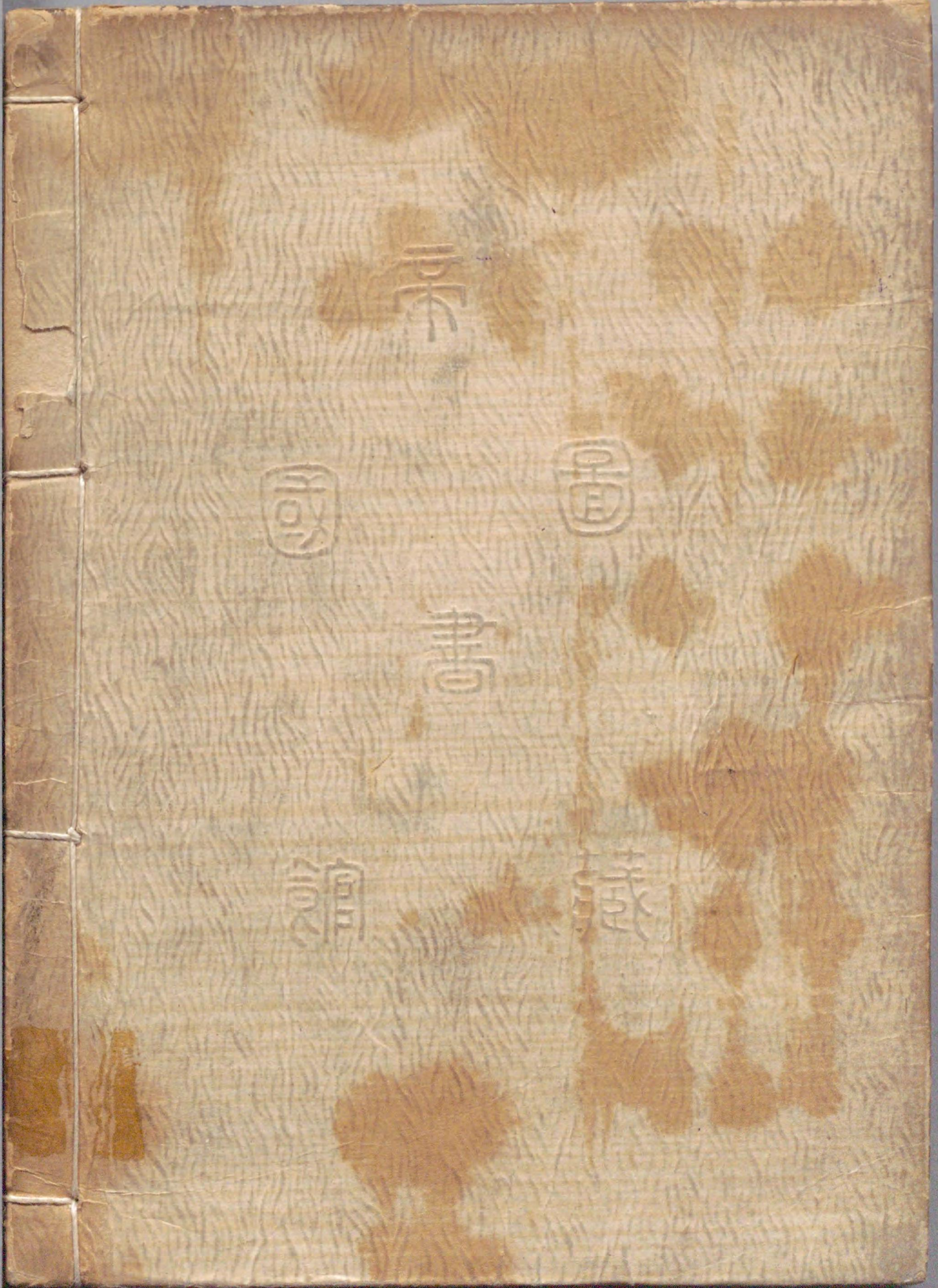
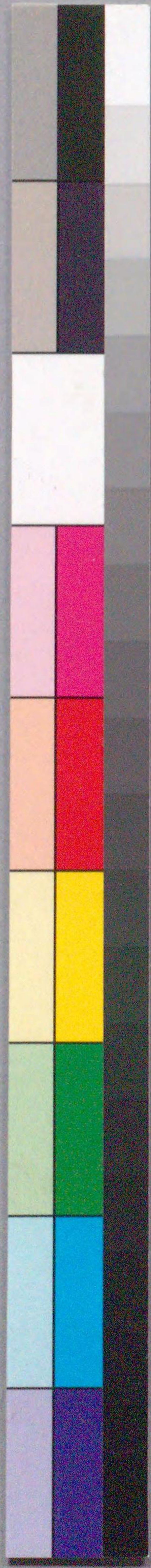




207
104



207
104



国立国会図書館 悪拔正直曾我：3巻 207-104

ガラス使用